



平成 30 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社 トライアイズ  
代 表 者 代表取締役社長 池田 均  
(コード 4840 JASDAQ グロース)  
問 合 せ 先 執行役員総務部長 小出 美紀  
電 話 0 3 ( 3 2 2 1 ) 0 2 1 1

## 平成 30 年 12 月期第 2 四半期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 30 年 2 月 15 日に公表いたしました平成 30 年 12 月期第 2 四半期累計期間（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）の連結業績予想と実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想との差異

平成 30 年 12 月期第 2 四半期連結業績予想と実績値との差異

(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

|  | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 親会社株主に<br>帰属する四半<br>期純利益 | 1 株 当 たり<br>四 半 期 純 利 益 |
|--|-------|---------|---------|--------------------------|-------------------------|
| 前回発表予想 (A)                                       | 965   | 45      | 47      | 23                       | 2 円 11 銭                |
| 実 績 (B)  | 839   | △34     | △13     | △30                      | 3 円 62 銭                |
| 増 減 額 (B - A)                                    | △126  | △80     | △60     | △53                      | —                       |
| 増 減 率 (%)  | △13.1 | —       | —       | —                        | —                       |
| (参考) 前第 2 四半期<br>実績(平成 29 年 12 月<br>期 第 2 四 半 期) | 1,048 | 53      | 89      | 38                       | 4 円 50 銭                |

#### 2. 差異の理由

当第 2 四半期では、建設コンサルタント事業において当第 2 四半期に計上予定の大型案件の完成工期が翌事業年度以降に延長となったことに加え、これらの大型案件の収益に関する進行基準の適用に向けての体制の整備及び調整が難航し、進行基準の適用が当期は見送られたほか、ファッションブランド事業における繁忙期の売上高が当初の予想を下回り、売上高が当初の予想を下回る結果となりました。そして、販売費及び一般管理費が前年同期より減少しましたが、当初の予想額を上回ったことから営業損失を計上するに至りました。

また、営業外収益に計上している有価証券利息が当初の予想を上回る結果となり、営業外費用に計上しているデリバティブ評価損が当初の予想を下回る結果となったものの、営業損失全体を補うには至らず、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失を計上するに至りました。

なお、通期の連結業績予想につきましては現在精査中のため、確定次第、業績予想の修正が必要となる場合は速やかにお知らせいたします。

以 上